

コンビニエンスストアにおけるレジ袋受け取り頻度に影響する要因の抽出

東洋大学大学院 学生会員 ○野方 直樹
東洋大学 正会員 村野 昭人

1. 研究の背景・目的

日本では「プラスチック資源循環戦略」を 2019 年 5 月に策定し、その具体的な政策として 2020 年 7 月 1 日より全国でレジ袋有料化の導入を開始した。国民生活に身近なレジ袋の有料化をきっかけとし、使い捨てのプラスチックに頼った国民のライフスタイルの変革を目的としている。

本研究では、レジ袋有料化の効果や市民の意識を明らかにすることを目的として、アンケート調査を行う。筆者が行ったスーパーマーケット（以下、スーパー）を対象とした調査では、レジ袋を全くもらわないと回答した割合が 70%を超えていた。レジ袋を受け取らない理由として、レジ袋が有料であることを挙げる割合が高く、環境配慮を理由に挙げた割合は、相対的に少ない結果となった。

今回はコンビニエンスストア（以下、コンビニ）を対象とした調査結果から、レジ袋受け取り頻度に影響する要因を抽出し、スーパーを対象とした調査結果との比較を行う。

2. アンケート調査

(1) 概要

コンビニにおけるレジ袋受け取りに関して、オンラインでアンケートを行った。全体のサンプル数は 1000 で、男女比は 1 : 1、年齢層ごとの回答数が均等になるように調整した。地域分布もほぼ均等となっている。

(2) アンケート調査結果

コンビニの利用頻度について調査した結果を表 1 に示す。「週に 1 回よりも少ない」と答えた人が約 40%と最も多かった。「週に 2~4 回」、「週に 1 回」と答えた人はそれぞれ約 20%となり、残りの回答は分散する結果となった。スーパーでの調査と比べて、利用頻度は全体的に少ない結果となった。

表 1 コンビニの利用頻度

	回答者数	%
毎日	36	3.6
週に5~6回	63	6.3
週に2~4回	203	20.3
週に1回	182	18.2
週に1回よりも少ない	408	40.8
全く利用しない	108	10.8
合計	1000	100.0

表 2 コンビニでレジ袋を受け取る頻度

	回答者数	%
ほぼ毎回	57	6.4
2回に1回程度	35	3.9
3回に1回程度	47	5.3
4回以上ごとに1回程度	101	11.3
全くもらわない	652	73.1
合計	892	100.0

表 3 レジ袋を受け取る理由（複数回答可）

	回答者数	%
レジ袋を別の用途に使いたい	92	38.3
レジ袋が安い	17	7.1
レジ袋が無料	16	6.7
マイバッグ等を持ち歩くのが面倒	59	24.6
マイバッグ等の持参を忘れた	106	44.2
その他	13	5.4
特に理由はない	20	8.3
合計	240	100.0

コンビニでレジ袋を受け取る頻度について調査した結果を表 2 に示す。回答者数の合計が 1000 でないのは、「コンビニを全く利用しない」と回答した人を除いたためである。「全くもらわない」、「4 回以上ごとに 1 回程度」と回答した人が合わせて約 84%と、スーパーでの調査と大きな差は認められなかった。店の種類によらず、レジ袋を受け取らないことが定着している結果となった。

キーワード レジ袋、受け取り頻度、コンビニエンスストア、有料化、アンケート調査
連絡先 〒350-8585 埼玉県川越市鯨井 2100
東洋大学 TEL:049-239-1399,E-mail:s36E02200082@toyo.jp

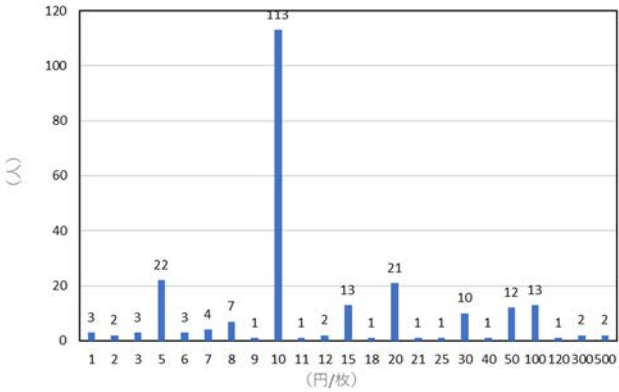


図 1 レジ袋の受け取りを辞退する金額

表 4 レジ袋を受け取らない理由（複数回答可）

	回答者数	%
環境保護のため	162	24.8
資源節約のため	168	25.8
ゴミ削減のため	160	24.5
レジ袋が有料のため	528	81.0
レジ袋を断ると、ポイント制度等の還元があるため	4	0.6
その他	8	1.2
特に理由はない	58	8.9
合計	652	100.0

表 5 レジ袋受け取り頻度に影響する要因

分析対象	p値	
性別	0.0314	*
年齢層	1.66E-05	***
未婚既婚	0.0597	n.s.
職業	0.7502	n.s.
世帯年収	0.5199	n.s.
ゴミ袋指定の有無	0.2691	n.s.
コンビニの利用頻度	1.62E-15	***
移動手段および所要時間	0.5926	n.s.

(*: p < .05、**: p < .01、***: p < .001)

「レジ袋を受け取る」と回答した人に、その理由について調査した結果を表 3 に示す。「マイバッグ等の持参を忘れた」、「レジ袋を他の用途に使いたい」という回答が多かった。その他の回答として、「弁当や汁気のあるものがこぼれる可能性がある」といった回答の他、「弁当の容器を袋にまとめて捨てたい」、「後ろに他の客が並んでいる中でカウンター越しにマイバックに入れたくない」など、コンビニ特有の回答があった。

レジ袋の受け取りを辞退するレジ袋の金額について調査した結果を図 1 に示す。1 枚あたり 10 円という回答が約 47%と多くなった。一方で 20 円以上と回答した割合も約 27%と多かった。この回答者はレジ袋の値段によらずレジ袋を受け取る意思が固く、レジ袋を必要とする理由がある、もしくは環境等についてはあまり関心がないと考えられる。

レジ袋を受け取らない理由について調査した結果を表 4 に示す。81%が有料であることを理由としており、環境配慮を理由とする回答は約 25%前後となった。その他の理由として、「袋が必要になる程の量を購入しない」といった回答があった。

最後に、コンビニでレジ袋を受け取る頻度に影響する要因について検定した結果を表 5 に示す。性別（女性の方が受け取らない）、年齢層（20～40 代の人は受け取る傾向があり、50～70 代の人は受け取らない傾向がある）、コンビニの利用頻度（利用頻度が高いほど受け取る傾向がある）で有意な差が見られた。

3. 結論および今後の展開

本研究ではコンビニにおけるレジ袋有料化に関するアンケート調査を行った。レジ袋を受け取る頻度が少ないと回答した割合が約 80%を占め、「マイバッグ等の持参を忘れた」、「レジ袋を他の用途で使用する」といった理由がある場合に受け取っていることが分かった。受け取り頻度に影響する要因として、スーパーでは年齢、職業、利用頻度、移動手段となっていたのに対して、コンビニでは性別、年齢、利用頻度という結果となり、女性、50～70 代、利用頻度が高いといった人がレジ袋を受け取らない傾向にあった。

参考文献

1) 野方直樹, 村野昭人：スーパーマーケットにおけるレジ袋受け取りに関する意識調査，土木学会第 50 回関東支部技術研究発表会，VII-3, 2023

2) 大塚佳臣：レジ袋有料化に対する賛否に影響を与える因子とその影響度の評価，土木学会論文集 G（環境），Vol77, No.6（環境システム研究論文集 第 49 巻），II_1-II_12,2021.